

あおぞら

発行：愛知県被災者支援センター
住所：名古屋市中区三の丸 3-2-1
愛知県東大手庁舎 1階
TEL：052-954-6722
FAX：052-954-6993
開館：月～金 10～17時



タイトル「お正月」



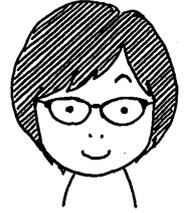
(小学校2年生 篠塚湧斗^{ゆうと}さん)

◇表紙に掲載する子どもの描いた絵を募集しています◇

絵を送る際に、①絵のタイトル ②絵の説明(30字程度) ③掲載するお名前 ④学年(年齢) ⑤保護者の方の連絡先(氏名・メールアドレスまたは電話番号)を明記のうえメールまたはFAXにて送ってください。

インタビュー⑧

以前、支援センターの向井さんがかわいくて素敵なガーゼマスクを持って来てくれたことがありました。その時から、どんな人がどんなきっかけで作っているのだろう？と気になっていました。今回はそのマスクを作っている西田さんに、たくさんのお話を伺うことができました。



福島県から避難された 西田 奈加子 さん

◆子どもたちの未来を考えて

震災時は郡山のマンションの9階に住んでいてひどい揺れでした。原発のことを心配する夫の勧めもあり、3月13日に在来線と新幹線を乗り継いで、実家のある豊橋にたどり着きました。最初は春休みだけいるつもりでしたが、帰れる状況ではないと判断し、そのまま実家にいることになりました。

震災が起きてすぐは自分の子どもや家族を安全なところに、という思いしかなかったのですが、情報を知るにつれて、この原発事故がいかに取り返しのつかないものであるのかということが分かってきました。そしてこの事故を引き起こしてしまった一番の原因は私たちの無関心だったのではないかと感じ、何かしなくてはと強く思うようになりました。

◆自分の作ったマスクでみんなが喜んでくれる

そんな中、2012年の2月にある市民活動をしている方の講演会で話を聴く機会がありました。その方は放射性物質や化学物質から身を守る手段のひとつとして、布マスクを紹介して下さいました。私は、裁縫は好きなので、マスク作りなら自分にもできるかもしれないと思いました。マスクの収益の一部を福島の子どもたちを支援する活動に寄付することで、自分の思いも形にできると思いました。

4重ガーゼのマスクで、サイズは幼児から大人大きめまで5サイズ、柄はどんな年齢や性別の人にも合うようにたくさんの種類を作っています。これまでの累計で2000枚以上作りました。去年買った人が「他のマスクと違って気持

ちいい！」と今年も買ってくれて、自分の好きなことでみんなが喜んでくれるのは、とても嬉しいです。

◆描くことで多くの人に知ってほしい

マスクを作る他に、活動を通して出会った友人と二人でマンガを描いています。友人も私も、3.11以前は社会の動きに無関心でした。原発が日本のどこにあるのか、いくつあるのかも知らなかった。「知らないうちに子どもたちの未来が取り返しのつかないことになっていた」では困るんです。自分たちも勉強しながら、なるべく多くの人に共感してもらえるようにユーモアを交えて、前向きな内容で描いています。今まで「選挙に行かなきゃ大変だ！」「ちゃんと知らなきゃ大変だ！」など、5編のマンガを描きました。

人に伝えられる手段があるってことは幸せだなと感じています。これからも描くことを中心にやっていきたいと思っています。

~~~~~



西田さんのマスクは、菜花屋(なかや)マスク店という屋号で豊橋市内の雑貨店等で販売しています。また、マンガは「豊橋いのちと未来を守る会」のブログで読むことができます。(http://inomira.jugem.jp/)

(あおぞら編集委員 六鹿直樹)



# リレートーク



震災から3年が過ぎ、愛知県に避難している方たちは今、どんなことを感じ、何を考え、何をしているのでしょうか。共感や新たな気づき、次につながる何かを見つけるきっかけになって欲しいという思いで、同じ愛知県に避難している方の今をリレー形式で紹介していきます。

## 安心と誇り

### ●不安

私は震災後、3月17日に家族と共に仙台市から尾張旭市に避難し、現在定住しております。

避難して一週間は、家族共々命が助かった安堵、そして時が経つにつれ、将来という「現実」に対する不安が押し寄せました。

震災前年6月に、かなりの資金を使い、つまり預金のほとんどを使いきる形で仙台にて独立開業（自営）。何とか目処のついた10か月後（3月11日）に被災、避難、廃業。そして息子（当時小3）。時折心身を襲う震災のフラッシュバック。錯乱状態の息子を後ろから抱きかかえる時の気持ちは、親として筆舌に尽くし難いものでした。・・・「仕事」と「家族」、私を支えていた大きな大きな「二本の柱」が揺らぐのを感じました。

闇よりも、さらにさらに暗い「闇」の中を、あてもなく歩き始めたような気持ちでした。

### ●明るく、温かい家

しばらくして、「そうだ、息子の学校・・・とりあえず、学校だけは・・・」と考え、尾張旭市役所に伺いました。

事情を説明すると、私たち家族の周りに、三人、四人、五人、と職員の方々が集まってくれました。そして・・・

「お疲れ様でした。もう安心してください。学校のことだけでなく、何でも相談して下さい。

市、職員とも、全力でバックアップさせてもらいます。」

私たちは突然、全く予期せぬ「明るく、温かい家」に迎え入れられたのでした。それが、なんと「市役所」であったとは、考えてもみませんでした。つまりそこは、「人」であり、「心」であったと。

以後、尾張旭市、愛知県、愛知県被災者支援センターの方々から色々なご支援を頂きました。こと息子は、岡崎の花火、F1、ブラザーの工作教室など多くのイベントにご招待頂くうちに、みるみる元気を取り戻していきました。

### ●これから

現在、息子は中一、私の仕事もまあまあ順調、可もなく不可もない生活を取り戻しております。ただ、この「可もなく不可もない」ことが、どれだけ幸せな状態なのかを思いつつ日々を送っております。

今回の震災では、多くの方々が亡くなられました。また、未だ仮設住宅での生活を余儀なくされておられる方も多いと聞きます。私はそれを決して忘れることなく、自分が生かされていることに感謝をもって過ごしていきたいと思っています。

そしてこれからも、愛知県民、尾張旭市民であることに、この上ない「安心」と、「誇り」をもって生活していきたいと思っています。

（尾張旭市 H.F）

## やりたいサポート事業紹介

### 健康ノート

健康に不安がある時に、医師に相談して適切な検査や医療を受けたいと願いますが、被曝ということが考えられる時、専門の医師を探すことが難しく、それが叶わない場面がありました。

そんな中で、自分達が体調の変化に気づいて、記録し、医師に知らせてその後の診察に活かしてもらうことが必要だと感じました。

そこで、私は支援センターのやりたいサポート事業で健康ノート普及を支援して頂き、希望する避難者の方々に健康ノートをつけてもらうことにしました。一人でも多くの避難者の方に記録してもらい、今後に備えて欲しいと思っています。

健康ノートには原発事故現場で起こった出来事や行政指示、事故から一カ月の各地の天気、放射性プルームの動きなどが記載されていま

す。あの時何が起こっていたのか、その時自分達が何をしていたかを把握しながら記録できる構成になっています。



放射線による健康被害には急性障害と晩発性障害があり、5年後10年後に起こってくるかもしれない晩発性障害について早期発見をして病気が重くなるのを予防しようという考え方です。

日々の体調を記録し、自分達の体調の変化を見過ごすことのないよう健康に留意して、多くの避難者の方によりよく暮らして欲しいと思っています。

(名古屋市名東区 渡辺優子)

## スタッフ紹介 ～事務局 石原なる美～

支援センターのスタッフがどのような経緯や思いでセンターの仕事をするようになったかを紹介していきます。第8回は事務局スタッフの石原なる美です。

2011年、当時学生だった私は、震災の2日後から街頭に立ち、募金を呼びかけていました。1日でなんと約300万円となり、その時は日本赤十字社へ寄付しました。4月下旬に福島県へ初めて行き、福島大学の学生とイベントを運営するために、避難所を訪問しました。そこで見た景色や状態に悶々とした気持ちを抱きながら、名古屋へ戻りました。

その後、乱立する学生団体をつなげたいと思い、「愛知の学生大ミーティング」を開きました。学生たちも、とにかく何かしたくて、必死だったのです。社会のことを全く知らないまま、「後援名義」を取るために授業の合間に役所を走り回ったりもしました。「学生」を一蹴せず、復興支援のために共に活動する一人の「人」として私達のことを見て、協力してくださった大人の方に背中を押され、今、支援センターでスタッフをさせてもらっています。



## 「私は偉い！！」の巻

ちょっと不思議な三河弁。ちょっとやさっとじゃ意味不明な三河弁。でもちょっと真似して喋ってみてください。雑踏の中で耳にする言葉に命が吹き込まれるかもしれません。

大学生の頃、親のお金で進学させてもらっていたのをいいことに、「遊び優先」「学業怠慢」な、とんでもない時期が少なからずありました。

授業へ誰が出席するかを友人と相談します。(輪番で誰かが出席すれば、ノートやレポートの作成が可能な講義もありましたし、偽出席の証拠も不可能ではない講義もありました。・・・お父さんお母さん先生ごめんなさい。)

「今日、授業どうする？」

「私、行くよ。」

そこで、私が一言・・・

「じゃあ、私帰るね。私、えらいからさあ～ごめんね」

こんな調子で午後からの講義には出席せず、アパートに帰って昼寝をすることがよくありました。こんな「あなたは何様ですか？」状態の私と友達を続けてくれた方々に深く感謝をし、「えらい」は全国区ではないことが判明したのは、大学生活も半分終わろうとしていた頃でした。

三河では、身体の調子が優れず何となくけだるい状態や大病を患ったり、怪我をして思うように動けなかったり等、とにかく何かの不調がある時、「えらい」という言葉でその状態を伝えます。または、困難な状態に置かれた時も「えらい」と言います。「昨日夜遅くまで働いたもんで(=働いた

ので)、えらい(=身体の具合が悪い)で(=から)、今日はゆっくりするわ(=過ごします。」「昨日の登山はえらかったわ(=きつかったです。辛かったです。)」のように使います。単純に「疲れる」ということを「えらい」と置き換えることで会話は成立します。

当時は、学業以外のもろもろにも力を注いでいました。午後になると、急激に身体が「えらく」なってしまふことがありました。「えらい」以外を標準語に直して、喋っているために上記のようなへんてこな一言になってしまいました。

付け加えて、「だるい・疲れる」と同じ使い方をする「こんきい」という言葉も三河にはあります。「今日はこんきいで帰る(=今日は疲れたので帰ります。)」と使いますが、最近ではあまり耳にしません。更に、「だるい」は「たるい」と言います。身体の調子が悪く「だるい」場合や面倒でやりたくない「だるい」の両方とも「たるい」となります。「えらい」「こんきい」「たるい」と口にしている方がいましたら、きっとどこかの調子が優れない、もしくは面倒なことに直面しているはずなので、優しく接してあげてください。

ご自身の体調が優れない場合も「えらい」と伝えれば、皆優しくしてくれること間違いなしです。

(文責 小野佳奈…東三河出身。福島県に嫁いで12年目に震災に遭い、愛知県に自主避難中)



新鮮&安心な食材と出会いたい!

# あいちの産直施設 お出かけガイド

## 第8回 西三河の巻

編集:あおぞら編集部



今回は、愛知県南西部にあたる西三河の施設をご紹介します。三河湾や矢作川のもたらす温暖な気候や豊かな大地に恵まれ、稲作から畑作・果樹・畜産までの多角経営農業を農業先進国「デンマーク」に例えられた地域でもあります(安城市)。また、日本一の生産量を誇る「西尾の抹茶」は、お茶屋さん・和カフェや、抹茶を使った和洋菓子の形でも楽しめ、おつかいものとしても好評です。



### ピックアップ

#### ⑧ファーマーズマーケット「でんまあと安城西部」

営業時間: 第3月曜除く毎日 9:00~18:00 TEL 0566-72-7333

500人余りの産直会員から提供される新鮮な農作物や果物に加え、地域の特産品やとれたて地魚(かね高)、経済連直営の精肉も人気の産直施設。加えて、「食育ソムリエ」が旬の野菜でおいしい食べ方を毎月紹介しています(次回2/19(金)10時~)。旬の農産物として、冬においしいにんじん「へきなん美人」の他、イチゴ・キャベツ・ホウレン草やJAあいち中央管内産のお米もお勧めです。



▼公共交通:「三河安城中央駅」から、あんくるバス<4高棚線>名鉄バス「西部福祉センター」下車。

■JAあいち中央ではにんじん料理レシピを紹介中 ▼[https://www.jaac.or.jp/agriculture/product/ninjin/recipe/p\\_01.html](https://www.jaac.or.jp/agriculture/product/ninjin/recipe/p_01.html)

西三河の産直施設(岡崎・幸田は別号でご案内します) 営業時間は、電話確認されると安心です。

| No | 施設の名称                            | 所在地住所           | 休業日(年末年始除く)            | 営業時間       | 電話           |
|----|----------------------------------|-----------------|------------------------|------------|--------------|
| ①  | JAあいち中央 あおいパークもぎたて広場             | 碧南市江口町3-15-3    | 月曜(祝祭日の場合翌日以下、「祝祭→翌日」) | 9:00~17:00 | 0566-46-0016 |
| ②  | JAあいち中央 産直センター刈谷北部               | 刈谷市日東境町神田36-1   | 第3月曜(祝祭→翌日)            | 9:00~17:00 | 0566-35-1080 |
| ③  | JAあいち中央 産直センター刈谷中部               | 刈谷市築地町4-2-7     | 第3月曜(祝祭→翌日)            | 9:00~17:00 | 0566-62-1055 |
| ④  | JAあいち中央 産直センター刈谷南                | 刈谷市小塩江町八角151    | 第3月曜(祝祭→翌日)            | 9:00~17:00 | 0566-27-8817 |
| ⑤  | 産直市場 おあしずファーム                    | 刈谷市東境町吉野55      | 年中無休                   | 9:00~19:00 | 0566-62-7001 |
| ⑥  | JAあいち中央 グリーンセンター安城北部             | 安城市東栄町4-5-15    | 第3月曜(祝祭→翌日)            | 9:00~18:00 | 0566-96-1051 |
| ⑦  | JAあいち中央 産直センター安城東部               | 安城市安城町宮前46-3    | 第3月曜(祝祭→翌日)            | 9:00~18:00 | 0566-76-6503 |
| ⑧  | JAあいち中央<br>ファーマーズマーケット でんまあと安城西部 | 安城市福釜町釜ヶ淵1-1    | 第3月曜(祝祭→翌日)            | 9:00~18:00 | 0566-72-7333 |
| ⑨  | JAあいち中央 産直センター道の駅デンパーク安城         | 安城市赤松町梶5        | 火曜(祝祭→翌日)              | 9:00~17:00 | 0566-73-4401 |
| ⑩  | JAあいち中央 産直センター安城南部               | 安城市和泉町家下4       | 第3月曜(祝祭→翌日)            | 9:00~18:00 | 0566-92-1316 |
| ⑪  | JAあいち中央 産直センター安城桜井               | 安城市桜井町三度山65-1   | 第3月曜(祝祭→翌日)            | 9:00~17:00 | 0566-73-7177 |
| ⑫  | 道の駅にしお岡ノ山                        | 西尾市小島町岡ノ山105-57 | 年中無休                   | 9:00~18:00 | 0563-55-5821 |
| ⑬  | JA西三河 西尾市顔の農園                    | 西尾市斉藤町大割28      | 年中無休                   | 9:00~18:00 | 0563-56-8168 |
| ⑭  | JA西三河 Aコープ桜町店                    | 西尾桜町5-18        | 第2・第4水曜                | 9:30~19:00 | 0563-56-1141 |
| ⑮  | JA西三河 Aコープ吉良北部店                  | 西尾吉良町上横須賀宮腰21-1 | 第2・第4水曜                | 9:30~19:00 | 0563-35-3131 |
| ⑯  | JA西三河 Aコープ一色店                    | 西尾市一色町前野新田53-1  | 第2月曜                   | 9:30~19:00 | 0563-72-2115 |
| ⑰  | JA西三河 吉良農産物直売所                   | 西尾市吉良町吉田桐杭23-1  | 第2・第4火曜                | 9:30~18:00 | 0563-32-1700 |
| ⑱  | JAあいち中央 産直センター高浜                 | 高浜市本郷町6-7-1     | 第3月曜(祝祭→翌日)            | 9:00~17:00 | 0566-54-3030 |

●愛知県で把握しているこの地域の施設で営業期間と交通の便を考慮して抽出しました。県農林政策課(電話052-954-6395)が制作したインターネットサイト「あいちの農林水産 産地直売所・ふれあい体験施設」では300もの全施設がご覧になれます。URL <http://www.pref.aichi.jp/0000003150.html>



# 旬のお出かけ情報

～ フェアトレード ～



2月はバレンタインデーがありますが、ちょっと特別なフェアトレードのチョコレートを選んでみてはいかがでしょうか？添加物不使用や有機素材だけで作られたヨーロッパ産の安心安全なチョコレートです。今回はフェアトレードの商品を扱う、名古屋市内のお店を紹介します。

※フェアトレードとは、貧困に苦しむ人たちの生活を改善する貿易のしくみです。

「安定した取引」「安全な労働環境」「環境に負荷をかけない農法」などを大切に作られています。



| 店舗名                        | 所在地                            | 取扱商品名                        | 営業時間／休業日                                  | 問合せ先             |
|----------------------------|--------------------------------|------------------------------|-------------------------------------------|------------------|
| 愛知県職員生活協同組合 西庁舎 10F 売店     | 名古屋市中区三の丸 2-4-1<br>愛知県庁西庁舎 10F | コーヒー・紅茶・チョコレート他              | 8:45～17:00／<br>土日祝休み                      | 052-<br>954-6860 |
| エシカル・ペネロープ TV TOWER        | 名古屋市中区錦 3-6-15<br>名古屋テレビ塔 1F   | 衣類、アクセサリ、コーヒー、チョコレート他        | 10:00～19:00／<br>無休                        | 052-<br>972-7350 |
| フェアトレード・ショップ風"s            | 名古屋市東区上堅杉町 1<br>ウィルあいち 1F      | コーヒー・チョコレート・雑貨他              | 10:00～18:00／ウ<br>イルあいち休館日                 | 052-<br>962-5557 |
| フェアトレード&エコ ショップ オゾン        | 名古屋市東区東大曾根町<br>40-6            | コーヒー・紅茶・チョコレート他              | 10:00～19:00／<br>火水休み                      | 052-<br>935-8738 |
| フェアビーンズ なごや地球ひろば店          | 名古屋市中村区平池町 4-<br>60-7          | コーヒー、紅茶、チョコレート、ココア、玩具、アクセサリ他 | 平日 10:00～17:00<br>土日 10:00～17:30<br>／月祝休み | 052-<br>583-6480 |
| ヘルシング あい                   | 名古屋市西区城西 2-15-13               | 食料品                          | 月～土 10:00～18:30<br>日 10:00～17:00／<br>無休   | 052-<br>602-5930 |
| オーガニックカフェ ポランの広場           | 名古屋市名東区一社 2-108                | コーヒー、はがき・カード・レターセット、果物       | 9:00～18:00／<br>木・第 2, 4 水休み               | 052-<br>703-4465 |
| あいのう流通センター                 | 名古屋市天白区井口 2-903                | 食料品                          | 10:00～19:00／<br>無休                        | 052-<br>801-5643 |
| ヘルシーメイト 名古屋焼山店             | 名古屋市天白区焼山 1-313                | コーヒー・チョコレート・衣類・シアバター・バナナ     | 10:30～19:00／<br>セール直後の月休み(月1回)            | 052-<br>800-3533 |
| 新鮮多菜 CAFE& RESTAURANT にんじん | 名古屋市緑区大高町大字<br>平子 36 南生協病院敷地内  | チョコレート、コーヒー、バナナ              | 11:00～17:00／<br>無休                        | 052-<br>629-7271 |
| LaLa natural               | 名古屋市緑区鳴海町向田<br>209             | 食料品                          | 火～土 11:30～17:30<br>日 9:00～17:30／<br>月休み   | 052-<br>623-0660 |

●詳しい情報はフェアトレード名古屋ネットワーク FTNN のホームページ (<http://www.ftnn.net/>) からご確認いただけます。



## 支援センターからのお知らせ

### <ランドセルの必要な小学生の保護者の皆様>

株式会社協和の「がんばれ！被災地のこどもたち！！みんなでランドセルを贈ろう！」実行委員会よりランドセルの寄贈があります。

すでに、来年度新入学生のお子さまがいるご家庭には資料を送らせていただきましたが、お申し込みがお済みでない方、または、下記の対象者に該当する方でランドセルが必要な方は、愛知県被災者支援センターまでご連絡ください。実行委員会と連絡を取って、寄贈の手続きを進めさせていただきます。

なお、ランドセルは、愛知県被災者支援センターを通じて、各ご家庭へお届けします。

#### 寄贈の対象者

1. 入学を迎える災害孤児を対象に、新品ランドセルを寄贈
2. 生活保護家庭・生活困難家庭の新入学児童のお子様を対象に、新品ランドセルを寄贈
3. 震災時に既に在学しており、なんらかの形でランドセルの提供を受けたが、汚損、破損がひどく使用に耐えられない状態である場合、再生ランドセルを寄贈

#### 【お問い合わせ先】

TEL : 052-954-6722 (愛知県被災者支援センター)

### <お米をお届けします>

飛島村のご厚意と生活協同組合コープあいちのご協力をいただき、今年も愛知県飛島村産のお米 10kg を、愛知県受入被災者登録制度にご登録されている皆様にお届けすることとなりました。

2月中旬から生活協同組合コープあいちより事前に電話連絡をして、お届け日時のご相談をします。お届けは2月中旬から3月上旬までを予定しておりますが、ご不在などで受け取れない、お届けを希望されない方等は、事前連絡の際にその旨をお伝えください。

詳細は、後日郵送にてお知らせいたします。また、住所や電話番号に変更のある方は事前にご連絡いただくと助かります。

### <福島県から避難されている皆様>

平成 27 年 2 月初旬に福島県から避難者意向調査が各家庭に送付されます。回答にご協力いただきますよう、よろしく願います。

〔問い合わせ専用フリーダイヤル

0120-107-705 (2/3~2/19 のみ設置)〕

### <2月の交流会等イベントカレンダー>

| 2月   | イベント名                            | 開催地域             |
|------|----------------------------------|------------------|
| 5 木  | ママに贈るハッピー講座                      | 岡崎市              |
| 8 日  | なごやであそび隊                         | 名古屋市千種区          |
| 12 木 | ママに贈るハッピー講座                      | 岡崎市              |
| 14 土 | 今あなたの感じているままの想いを語る場<br>パッチワーククラブ | 名古屋市中区<br>名古屋市東区 |
| 21 土 | 囲碁クラブ                            | 名古屋市東区           |
| 22 日 | 子育てつどいの広場                        | 名古屋市瑞穂区          |
| 25 水 | 里山を歩きましょう                        | 名古屋市千種区          |
| 28 土 | パッチワーククラブ                        | 名古屋市東区           |

- 詳しくは定期便に同封のチラシをご覧ください。  
皆様のご参加をお待ちしております。

### あおぞらに関する

### <宛先>はこちら

(表紙の絵、ご意見・ご感想など)

〒460-0001

名古屋市中区三の丸 3-2-1

愛知県東大手庁舎 1 階

愛知県被災者支援センター

TEL : 052-954-6722

FAX : 052-954-6993

E-mail : aozora@aichi-shien.net

皆様のご意見を  
お待ちしております

